

科目名 (Eng)		特別セミナー(Advanced Seminar)							
担当教員		物質・環境システム工学専攻全教員, ビジネスコミュニケーション学専攻全教員							
対象学年等	専攻・学年		授業期間・区分・単位数・時間数			分野	形態	学修単位科目	
	機械・電気システム工学専攻	2	通年	必修	2	60	専門	C	
目標基準との対応	福島高専の教育目標との対応：(C-6), (F-1), (F-3)								
	修了時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：3), 6)								
		JABEE基準1 (1)との対応：(d)-(2)-b), (d)-(2)-c), (d)-(2)-d), (f)							
授業の概要と方針		他専攻の教員の指導のもと、文献講読、調査、実験、解析等を通して、実践的職業人として必要な他専攻の専門分野に関する知識の修得、思考力及びデザイン能力の育成を図る。							
到達目標		①異なった専攻分野における自選したセミナーテーマについての基礎知識を習得し、新たな知見を得ることができる。 ②調査、解析、または実験等を含むセミナーの成果をまとめて他者にわかりやすく説明することができる。 ③幅広い柔軟な思考力を身につけ、自己の研究領域に活用できる。							
授業計画									
1. 授業計画 機械工学, 電気工学系の主な特別セミナーの内容は、各担当教員の専門分野に関する以下のテーマである。									
2. 特別セミナーテーマ <b>【物質・環境システム工学専攻分野】</b> (1)生体機能化学に関する調査と実験 (青柳) (2)ケイ素元素の流れ (伊藤正) (3)地域外からの移入生物の遺伝子的調査法の検討 (天野仁) (4)水耕栽培による植物の生産 (鴨下) (5)ナノサイエンスへの入門 (酒巻) (6)食品の機能性成分に関する調査と実験 (柴田) (7)有機材料に関する調査とその合成実験 (梅澤) (8)骨組構造モデルの強度に関するコンピュータ解析と静的・動的実験 (根岸) (9)相互依存形式構造の学習/コンクリートの非破壊検査法の実験的学習 (山ノ内) (10)プロパテント時代を生きる (金子) (11)簡易水質分析手法に関する実験的考察 (原田) (12)コンクリートの基礎的性質に関する調査と実験 (緑川) (13)地震災害が住民生活に及ぼす影響 (森田) (14)新しいまちづくり手法に関する研究について (斉藤) (15)流れの数値解析について (菊地) (16)浄水処理の高効率化について (高荒) <b>【ビジネスコミュニケーション学専攻分野】</b> (17)熟延プロセスにおける組織制御モデル (脇田) (18)ゲーム理論とその応用 (森川) (19)地域経済振興施策についての研究 (芥川) (20)組織改革に関する研究 (平塚) (21)経営者の裁量行動に関する研究 (渡部) (22)①ヒット商品創出の事例研究②まちづくりとマーケティングの事例検討 (松本行)									
試験について		試験は実施しない							
評価方法		研究の成果, 報告書, 発表内容を総合して評価する。							
教科書		各テーマについて指導教員より指示がある。							
参考書									
関連科目									
履修上の注意		研究テーマに対して、問題を自ら探して解決する積極的かつ自発的な取り組みを特に望む。							